

事業名：河川等維持事業

治水課 治水係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	03 危機管理の強化・充実								
基本事業	01 治水対策の強化								
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市が管理する河川及び調整池									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。									

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標2	調整池数	ヶ所	26	26	26	27
活動指標1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	3	4	8	3
活動指標2						
成果指標1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	3	3	3
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,231	5,615	6,852	8,716
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	2,344	2,347
総事業費(A+B)		千円	8,639	8,020	9,196	11,063

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	明野川、志文別川、屯田川法面補修 登満別川、原の沢川、志文別川床さらい 江別太排水機場、クッタリ集水路管理用道路補修工事	法面補修 3,420,900円 床さらい 1,571,849円 管理用道路補修工事 213,150円 測量費ほか委託料 1,421,805円 その他 224,700円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
河川や調整池の治水安全度の確保のため。
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
市が管理する河川及び調整池については、管理者が行うことは当然行う義務的 事務事業である。準用河川は河川法第2条から第5条、普通河川及び調整池は 準用河川を運用する。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
災害の発生を未然防止することにより、貢献度は大きい。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
河川等の本来の機能を維持することにより洪水被害の軽減になっている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
成果を向上させるためには、河川改修を行うことであるが、莫大な予算及び地 元の地権者の了解が必要である。 この事業は現段階での本来機能を維持することが目的であり、成果の向上余地 は少ないと考えます。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
河川等の本来の機能を維持するための最小限の経費である。	